

洪水調整機能の評価マップ

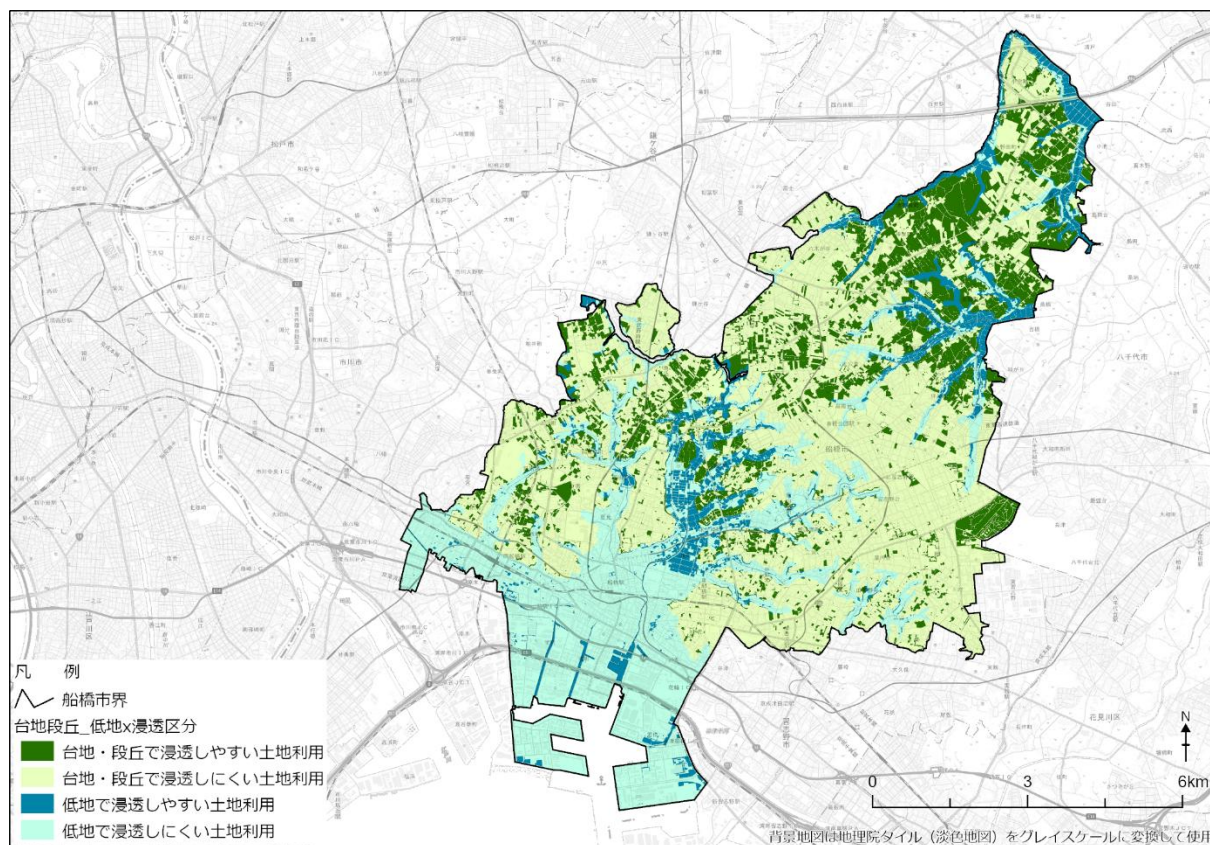
船橋市において、雨水の貯留・浸透などの洪水調整機能を有すると考えられる場所を評価するためのマップを作成しました。作成したマップを以下に示します。

標高や地形、土地利用等を踏まえて船橋市全域を「台地・段丘」と「低地」に区分し、それぞれで雨水が浸透しやすいと考えられる場所を「浸透しやすい土地利用」として評価しました。

「浸透しやすい土地利用」については、市域における植生分布図（自然環境区分マップ）（資料5：p2に掲載）を基に、自然的な土地利用（水田、畑、果樹園、草地、樹林、水面）の場所を「浸透しやすい土地利用」として抽出しました。

「台地・段丘で浸透しやすい土地利用」については、雨水を浸透させることで、地下水を涵養するとともに、地下水となった水は湧水として緩やかに流出し、低地や河川に流れ込むことから、洪水の調整に寄与します。

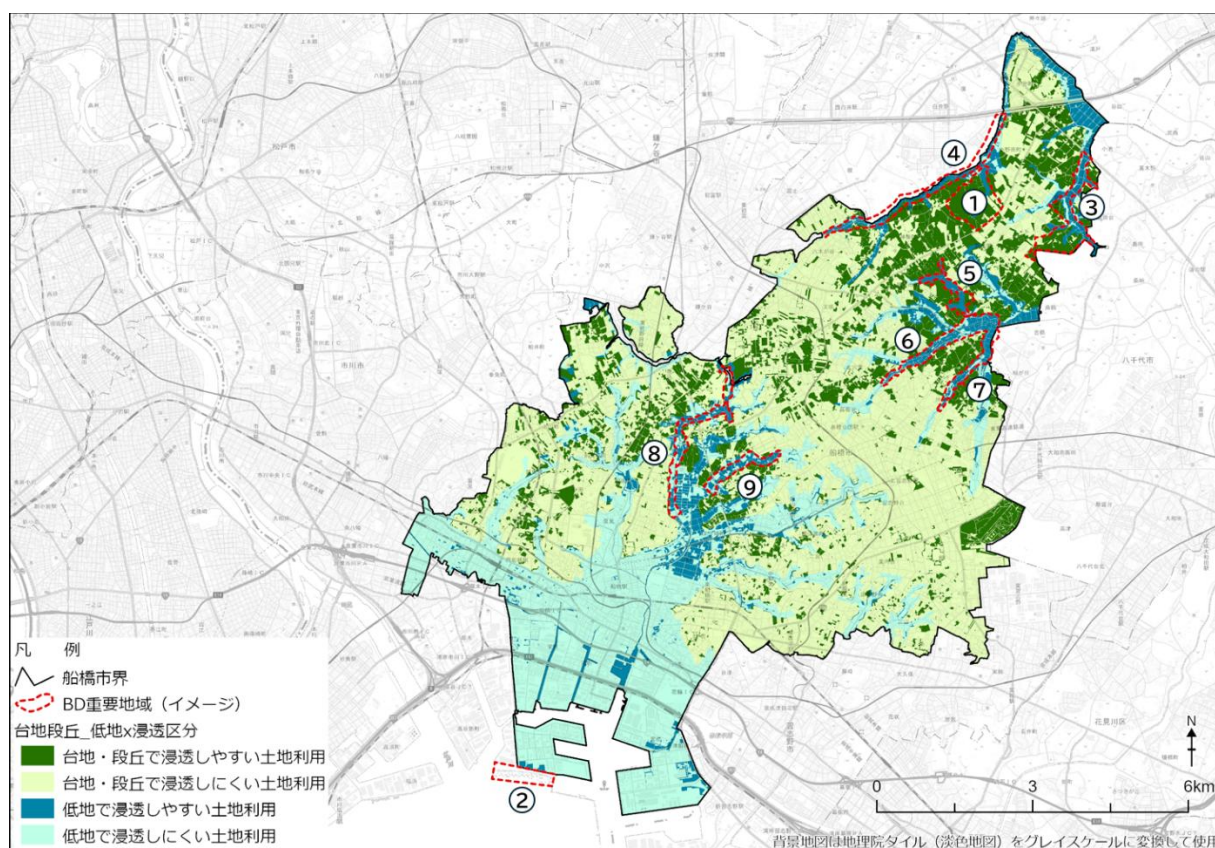
また、「低地で浸透しやすい土地利用」については、雨水の浸透に加えて、洪水時に一時的に水を貯める機能を有する場所となるなど、都市部における災害リスクの低減に寄与していると考えられます。



洪水調整機能を有する土地

また、雨水が「浸透しやすい土地利用」と、生物多様性の保全上重要な場所（資料4：p44に掲載）を重ね合わせた地図を作成しました。

生物多様性の保全上重要な場所のうち、「①県民の森」は「台地・段丘で浸透しやすい土地利用」に位置しています。その他の「③鈴身川周辺の谷津環境」などは、生物多様性の保全上重要な場所の大部分が「低地で浸透しやすい土地利用」となっており、これらの場所を保全することは、生物多様性の保全だけではなく、防災・減災にも貢献する取組になると言えます。



船橋市内の生物多様性の保全上重要な場所との重ね合わせ

- ① 県民の森周辺
- ② 三番瀬
- ③ 鈴身川周辺の谷津環境
- ④ 二重川流域の河川環境
- ⑤ 楠が山町周辺の谷津環境
- ⑥ 木戸川流域の谷津環境
- ⑦ 駒込川流域の谷津環境
- ⑧ 北谷津川流域の谷津環境及び斜面林周辺
- ⑨ 高根川流域の谷津環境